



秋庭 繁 議員

市長の選挙公約の実現見通しについて

問 ①「子ども医療費、外来入院自己負担ゼロにします」は日本共産党が一貫して求めてきたものである。具体化への考えを伺う。②産業文化の拠点整備について、古河駅東部土地画整理事業を4年間でめどを付けるとあるが、文化施設とは4年前に問題になった総合的文化施設のことなのか。建設場所、規模や資金計画等について伺う。③待機児童の問題について、旧三

和地区に公立の保育所設置と100名を超える非正規職員の待遇改善と正職員化で保育の充実と質の改善向上を図るべきでないか。④小中一貫教育と名崎小学校の問題について伺う。

答（市長） ①子ども医療費自己負担分無料について、市民に喜んでいただける持続可能な制度をつくりたい。検討する時間をいただきたい。②産業文化拠点整備について、古河駅東部土地画整理事業の推進と土地の活用方法を検討しながら考えていきたい。③三和地区に公立保育所を整備することについては、待機児童の状況を見ながら見極めたいと考えている。非正規保育士の正職員化について、公立保育所の再編や整備計画の中で

検討していく。④全くの白紙である。名崎小学校について自分の考えとして統廃合反対である。

過去に例のない低投票率について

問 旧古河市の市長選は投票率が70%を超えていた。今回47%という結果だったが、なぜこんな低い投票率になったのか。

答（市長） 市長選に限らず、全般的な投票率を上げる方策を考えていかなければならない。



環境調査で、ヒ素が検出された古河駅東部土地画整理地内



落合 康之 議員

副市長二人制について

問 副市長二人制は所信表明における経常経費の抑制、歳出削減の取り組みと相反するものであると考えられるが、市長のお考えはいかがか。また、副市長人件費が向こう4年間でいくらになるのか教えてほしい。

答（市長） 副市長二人制導入について、古河市副市長の定数を定める条例で副市長の定数を2名と定めている。トップマネジ

メントの強化を目指し、二人制がよろしいのではないかと新聞記者に語った経緯はあった。

答（総務部長兼危機管理監） 副市長の人件費は4年間で約7,110万円となる。

再質問 市役所内には優秀な職員たちが800名以上働いている。優秀な人材を育てていく気持ちがなければ経常経費は削れるわけがない。内部から人を育てることのご意見をいただきたい。

答（市長） 副市長二人制について、議員からの内部から昇格させたほうがいいのかという意見だが、検証・検討しながら意思決定のうえ、議会に提案させていただきたい。

再々質問 経常経費の削減を言うのであれば、職員に手本を見せ、人を動かす基本が何なのか確認していただきたい。

答（市長） お金の使い方等について、まず手本を示しなさい、全くそのとおりであろうと思っている。100万円かかったら、それについての評価はいろいろなものがあるかと思う。有効か無駄なのかというのはある意味認識の違いだと思う。



議会本会議場副市長席